

令和3年度 第1回入札監視委員会議事概要

日 時 : 令和3年12月22日(水) 14時00分～16時45分
場 所 : 四街道市役所 分館2階 入札室
出席者 : 委員等 中尾宏委員長、田中孝一委員、廣田稔委員
事務局 契約課長他契約課職員2名、
発注課 各抽出案件発注課長及び担当職員

【概 要】

1. 開会

委員長あいさつ

2. 議題

1) 入札・契約手続の実施状況について

①入札・契約手続の運用状況報告(令和2年度)

・事務局より令和2年度(下半期)契約課執行分の発注方法・業種別契約件数を報告。

②抽出事業の審議

抽出事業1 第二福祉作業所改修工事

委 員 : 6者中5者が辞退するという結果になった理由はわかるか。

事務局 : 発注時期が遅かったため、各者が既に工事を抱え新たに現場に専任させる技術職人の確保が難しいことが考えられる。落札した成田市の東邦建設(株)は比較的大きい会社のため、一級建築施工士の確保が可能だったと思われる。

委 員 : 予定価格は入札前に開示されるものか。予定価格を知ってから申請するのか。申請してから予定価格を知るのか。

事務局 : 指名競争入札以外は公告に明記し公開しているため、予定価格を知ってから申請をすることになる。

委 員 : 6者中5者が辞退では競争入札が成り立っていない。地区要件を広げる、入札条件を緩和するなどの改善策は考えているか。

事務局 : 1番の改善策は発注時期を11月ではなく業者の手の空いている4月から6月の早い時期にすれば6者中5者の辞退は避けられたと考える。

委員：工事期限が年度末に集中する工事を回避することによって改善されるのか。

事務局：そう考える。

委員：競争になっていない。

委員：辞退の理由は把握しているのか。

事務局：辞退届の様式に辞退する理由を記載する欄があり、技術者が確保できない、下請業者が確保できない、再度積算した結果清算が合わないなどの記載がある。

委員：同じ業者が同じ理由で辞退できないよう対応をとるなど、辞退に対して意識付けをすることが大切だと思う。今ならば、会社内でコロナが発生したなど誰もが納得できる理由の辞退のみを認めるなど考えてもいいのでは。

事務局：辞退の理由は同じでも案件により内容は変わってくるので、早期発注を心がけていきたい。

抽出事業2 吉岡9号線用地測量業務委託（その2）

委員：落札金額が予定価格、入札したもう1者に対し非常に低額で落札している。この金額に対して、何故この金額になったのか、品質の確保の面でどのように考えているか。

事務局：予定価格は積算基準を用いて設定している。また、早期発注により契約額が抑えられたと考える。落札した(株)中央測量は市内の測量業務を受注しており、この業務についても何としても受注したいという意欲の表れと考える。

委員：予定価格に対しあまりにも低額のため、内訳を出して設計額とどこが違うかなどの比較はしているか。

事務局：低額の入札については企業努力であり、市内の測量業者は(株)中央測量1者であるため、多くの案件を落札している。また、過去の実績からも問題は発生していないことから品質についても確保できているものと考えている。

委員：申し込みをしたのは何者か。

事務局：2者。

委員：予定価格は予めわかっていたのか。

事務局：公告に明記している。

委員：このような金額で入札されるということは、積算が甘いということか。

発注課：設計書については、県の積算基準を使用しているので、適正な設計だと認識している。

委員：市民からすると、今回がこの価格で出来たのであれば、次回は積算額を下げてもいいのではないかとみてしまうので、より詳細な見積根拠を出してもらい金額設定の問題が無いかなど検証をすることの検討も必要だと考える。

発注課：工程スケジュールは確認している。(株)中央測量は過去の実績があるので細かい金額のヒアリングまでは実施していない。

事務局：内訳を提出してもらい入札額の確認をすることが可能ならば検討したい。

委員：契約締結前に、金額の確認をしてほしい。

委員：なぜ低く入札できたのか、理由を把握し説明できるようにすることが必要である。

事務局：理由を把握する方法について検討する。

抽出事業3 清掃業務委託（中央保育所他）

委員：予定価格の半分以下の入札額になった理由は。

事務局：前年、同案件は江戸川商事(株)が落札率51.21%、126万1,700円で契約していることから、(株)ラインプロテックは入札してきたのではと考える。

委員：予定価格の決め方に問題はなかったのか。また、不適切な見積はなかったかの確認はしているか。

発注課：低額の入札ではあったが、不備はなかったと考える。

委員：入札額と予定価格の差がありすぎるので、予定価格が違うのではないかとは思わなかったのか。

発注課：予定価格は県の積算基準に沿って積算したので適当であると考えている。

委員：賃金の支払いや福利厚生の確認はしているのか。

発注課：していない。

委員：大切なことなので確認をしてほしい。

委員：市民感情としては、210万円で入札をかけたものが半額以下で落札され、それが毎年続いていることは入札制度としては健全とはいえないので、予定価格に問題があるのか、あるいは、落札額の中身に問題があるのか検討していただき、改善を図ってほしい。

事務局：福利厚生や社会保険の加入については、名簿登録時の確認内容となっており、承認を受けた業者のみが名簿に登録され、入札に参加している。

抽出事業4 可燃ごみ及び不燃ごみ収集委託（その1）

可燃ごみ及び不燃ごみ収集委託（その2）

可燃ごみ及び不燃ごみ収集委託（その3）

委員：3件とも同じ3者が入札しており、99%の高い落札率である。市民から見ると3者が話し合い、分け合ったのではないかと感じるのではないか。どのように正当性を確認しているのか。予定価格はこの3者から見積を徴取し決めているのか。

発注課：千葉県の労務単価を用いて必要経費を積算している。

委員：（その1）では(有)和光防疫が落札し、（その2）と（その3）を辞退している。（その2）では(株)四街道企業が落札しているが、（その3）にも入札している。これは、金額によっては(株)四街道企業が（その3）も落札した可能性があったということ

でよいか。

発注課：参加資格要件としている四街道市の許可を得ている業者は22者、過去5年以内に3年以上連続で実績を有する業者10者の計30者以上が該当となるが、四街道市で実績のある3者しか入札しなかったと認識している。

委員：非常に大切な仕事であり、予定価格の範囲内で落札し運用されていることは大変好ましいことと考えるが、市民から見たとき、この結果では談合の疑いをもたれかねない。随意契約から一般競争入札への移行に無理は無かったかなど、確認する方法はないか。

発注課：今回、一般競争入札にしたことにより、随意契約の始まった約20年前から据え置きしてきた労務単価の見直しなどを行い予定価格の設定を行った。

委員：随意契約から一般競争入札に変えて価格は上がったか。

発注課：価格は上がった。予定価格は公告時に明記されているので、より近い金額で入札してきたのではないと考える。令和2年度の3者の合計額が2億143万8600円。令和3年度の入札の結果では2億1305万2884円。約1000万円の増額となる。

委員：今回も随契でやっていたら、金額は下がっていたと思うか。

発注課：以前から要望されていた労務単価の上げ幅を考えると変わらなかったのではと考える。

事務局：開札日をずらしていることにより、不調を避けている。

委員：1者が3案件を取った場合、業務は回るのか。

発注課：業者の規模から考えると、成田市の共同リサイクル(株)は可能、市内の(株)四街道企業及び(有)和光防疫は難しいと考える。

委員：市民から見ると落札率が99%だと談合を疑われてしまうので、入札時に内訳書などを出してもらうことは可能か。

発注課：資源物などはコロナ禍で先が見えない中の見積額になるので予定額ギリギリを出していると考えている。

委員：予定額は他市町村との比較は可能か。

発注課：分別方法、集積所の数、集積所に出す世帯数、狭隘道路の道路状況、それによる使用車両の種類、確保台数など、各市町村によって内容が異なるため比較は難しい。

委員：千葉市の市民一人当たりのごみ処理費用はいくらで、四街道市はいくらなど、比較検討はできるか。

発注課：市民一人当たりというより、ごみの量、人件費、燃料費、走行距離などを参考に設計している。

委員：予定価格の基準、入札額の妥当性を確認している方法などを示すのは可能か。

委員：四街道市の地区割のA・B・Cと一緒か。

発注課：A地区を3分割にして(その1)(その2)(その3)と区分した。

委員：(その1)と(その2)の予定価格が同じなのはなぜか。

発注課：（その１）と（その２）の集積所数・走行距離がほぼ同じだが、（その３）は集積所数・走行距離数・必要車両が多くなるため予定価格が高くなる。

事務局：落札率が高いとの問題提起を受け、対応について検討をしていく。

発注課：落札率が高いのは、予定価格が公表されていることも要因と考える。

委員：予定価格を決定する時にキチンと設計しているのは理解しているが、入札金額だけで判断するのは説明がつかないので、内訳書などで金額の確認をすることはできないか。

事務局：検討する。

発注課：おそらく業者から提出される内訳書は「収集車１台１日いくら」という表記になり、市の積算項目と必ずしも一致しないと思うが、詳細は確認できると思う。

事務局：あとは、実績要件を緩めるのも方法の一つと考える。

発注課：他の市町村で安価で落札した業者が業務継続不能となり解約した、外国人労働者を雇い日本語がわからないためトラブルを起こしたなどの事例があるため、収集業務の質を保つため実績は緩めたくない。また、途中契約解除などの不測の事態を避けたい。

事務局：落札不調を避けるために開札日をずらしている。

委員：市民がごみを出すのにいくらかかっているか、どのように使われているかなどを知ることがごみ処理に対する理解を含めることになるので、金額の内容の確認は行ってほしい。

発注課：入札にすると、取れなければ会社存続が難しい業者もあり、経費も増加しているので、個人的には、随意契約で先々の業務を確保し経費を下げた方がいいのではないかと感じている。

委員：一般的に随意契約より一般競争入札にした方が公平公正にできるのではないかと考えるが、一般競争入札よりも随意契約が相応しい案件もあると思うので、この件についてはどちらが相応しいか再検討をお願いします。

抽出事業５ 四街道小学校・四街道西中学校給食業務委託

中央小学校・四街道北中学校給食業務委託

四街道市立学校給食共同調理場運営委委託

委員：３件とも同じ業者が入札してきており、談合しているように見えるが、このようになった理由は把握しているか。

発注課：内容として一般競争入札向きを考え入札を行った。

委員：１件目は落札者以外の３者が予定価格とも違う完全同額で入札しているが考えられる理由は何か。市民としては口裏を合わせているのではないかと考える。それを「偶然」という説明で市民が納得すると思うか。

委員：入札の段階で、給食を受ける側の人数等は示されているのか。

事務局：仕様書として明示している。

委員：そうすると、入札業者は一人当たりの単価×人数で金額を出していると思うが、一人当たりの単価は3者とも同じか。

発注課：小学校と中学校の違いはあるが、各学校とも同じ単価になる。

委員：予定価格は一人当たりの単価×人数で出しているのか。

発注課：人件費の対して直接物品費、業務管理費、一般管理費をかけている。

事務局：設計書と同じ内訳書を出させれば、金額に違いは出てくると思われる。

委員：(株)東洋食品が低い理由は確認しているか。見積根拠の確認はしているのか。

事務局：金額一本の入札なので見積根拠の確認はしていない。是が非でもこの案件を取りたいという企業努力と考えるが、不適切な内容を淘汰するためにも内訳書添付など検討していきたい。

委員：落札は入札金額の根拠を確認してから決定するよう希望する。また、市民の目から見た質問には答えられるように対応することを希望する。

③指名停止の運用状況について（当日差替）

- ・事務局より、令和2年度下半期に指名停止した4件のうち四街道市が直接関係ある4番（1件）について説明。

委員：事務局の説明に対し、質問はあるか。

委員：なし。

3. その他

- ・令和2年度下半期の再苦情申立てなし。

※入札結果について「談合ではないか」と危惧される案件が散見すると指摘を受けた。

談合については現場を押さえない限り立証は難しいので、「談合ではないか」と指摘された場合の対応策を講じるよう指示をいただいた。

案として以下を提示した。

- (1)高落札率が予想される（又は過去に高落札率だった）案件の入札時には、入札金額の内訳書の提出を求め、入札金額の見積根拠の確認（各業者の違いが確認できるはず）を行う（現行の入札制度では、内訳書添付が限界と考える）。
- (2)各案件内容に相応しい契約方法（一般競争入札、指名競争入札、随意契約）の再検討を行う。
- (3)「談合ではないか」と危惧される案件を参考に入札制度の問題点を洗い出していく。

4. 閉会